

2024 年度  
(令和 6 年度)

事業計画書

社会福祉法人 東京有隣会

# 法人本部

(下線部は当初計画からの修正)

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>居宅介護支援事業所の開設</b>		
4月開設予定(1人体制)	開設(2023.4)	(ケアプランゆうりんの事業計画に移行)
ケアプラン見込件数 期初5件 期末30件	12月末20件	
<b>地域包括支援センターへの応募</b>		
準備室開設(兼務体制) (年度末)事業者応募	2024年度当初の準備室開設に向けた体制整備 2024.3募集要項説明会参加	事業計画書提出 ヒアリング出席(4~7月) (受託した場合) 秋頃から職員採用等開設準備
<b>災害に備える地域づくりに貢献</b>		
<b>(1)法人各施設の連絡調整の強化</b>		
法人のBCPに関する連絡調整会議(毎月開催)	BCP委員会毎月開催 既存のBCPを更新 グループウェアにて共有	法人のBCPに関する連絡調整会議(毎月開催) (追加)新棟BCPの制定 (追加)太陽光発電設備の設置
法人の総合防災訓練の実施(年1回以上)	有隣病院の防災訓練とともに実施(9/1)	法人の総合防災訓練の実施(年1回以上:新棟完成後)
<b>(2)地域や行政と連携した取組み</b>		
地元自治会・町会との連絡調整会議(年数回)総合防災訓練についての協議	常会、役員会に随時参加 病院の参加状況と効果の共有	地元自治会・町会との連絡調整会議(年数回) 総合防災訓練についての協議
地区の他の自治会・町会との情報連絡会への参加	地区情報の把握	
世田谷区の福祉避難所連絡会への参加	連絡会の情報把握	世田谷区の福祉避難所連絡会への参加
<b>外国人人材及び障害者など多様な人材の受入</b>		
外国人受入に向けた環境整備	特養両施設で情報共有し、共同で取組むよう検討、内定者あり	施設における外国人人材の受入開始を支援
障害者雇用に関する区の講座へ参加等	障害者雇用に関する基礎講座に参加(6/30)	障害者雇用に関する区の講座へ参加等
<b>ガバナンス・アドバイザー機能の強化等、本部機能の強化</b>		
<b>(1)ガバナンス機能(監視・是正機能)の強化</b>		
決裁起案文書の改訂	改訂完了	新棟関連の入札立会・決裁内容の精査
<b>(2)アドバイザー機能、支援機能の強化</b>		
入札・購買支援(費用削減支援)	第2有隣ホームの見守りシステム、厨房システムなどの高額品の検討、入札事務の代行	入札・購買支援(費用削減支援) (追加)新棟開設の届出支援 (追加)新棟建設の補助金申請支援

取組み項目	2023 年度 実施見込	2024 年度計画
<b>(3)法人本部機能の強化</b>		
法人組織の強化に向けた検討 (組織のあり方、法人本部の設置場所、財務事務の見直しなど)	新棟竣工後のレイアウトを検討し、本部事務所集約を計画	<u>(修正) 新棟落成式の挙行</u> 新棟完成後 本部事務局設置場所を移動
法人の DX を進める体制検討	会計システムをクラウド版に切替え RPA システム、グループウェアの有効性検討	<u>(修正) 法人業務電子化の推進</u>
定年制の見直し検討	定年延長検討委員会を設置	<u>(修正) 定年に関する規程改訂</u>
100周年事業のあり方検討	1月「東京有隣会 百年のあゆみ」編纂委員会を設置し、定例開催	<u>(修正)</u> <u>編纂委員会の運営 (毎月)</u> <u>100周年委員会の運営 (毎月)</u>
<b>(4)地域コミュニティ・地域協働活動への参画</b>		
広報紙(定期発行)	年4回発行	広報紙(定期発行)
地域活動への参加 (地域のクリーンアップ作戦や各種イベント6回以上)	あおば祭り参加 町会の交通安全運動、リサイクル活動等に参加 ふれあい祭り参加 地元町会新年会出席	<u>地域活動・イベントの協賛、参加</u>
<b>区内の社会福祉法人との連携・強化</b>		
区内1法人との包括連携協定	世田谷区社会福祉事業団と基本協定を締結(5月) 事業団ユニットケア見学 情報交換会開催 (7.12月、2月) 3月 特養運営の事例検討会 (場所 芦花ホーム)	合同研修等、連携開始

# 2024年度事業計画 — 特記事項（法人本部）

2024 年度計画	詳細事項 ・ 具体的取組事項
地域包括支援センターへの応募	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業計画提出（4月）</li> <li>2. ヒアリングに出席（5-7月） ※9月結果通知</li> </ol>
災害に備える地域づくりに貢献 (1) 法人各施設の連絡調整の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新棟BCPの制定 毎月開催の BCP 委員会に基づき新棟開設までに新棟 BCP を制定する</li> <li>2. 太陽光発電設備の設置 毎月ソーラープラス PJ 会議を開催し、新棟と別館に続き、C 棟と有隣ホームへの太陽光発電設備整備を検討する</li> </ol>
外国人人材及び障害者など多様な人材の受入	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国人人材の受入開始支援 4月 特養で各 2 名(計 4 名)の受入れを開始 継続的な受入に向けて、制度・設備面の準備、施設の安定運営のための受入計画の検討</li> </ol>
本部機能の強化 (1) ガバナンス機能（監視・是正機能）の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新棟関連の入札立会・決裁内容の精査 新棟関連では、大型の購買があるので、入札立会、決裁の精査を行う</li> <li>2. 新棟の「開設スケジュール管理表」に基づき、計画的に準備が進んでいるか、モニタリングする 移転間際になっての引越起案、残置物処分起案がないように留意する</li> </ol>
本部機能の強化 (2) アドバイザリー機能、支援機能の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札・購買支援(費用削減支援) 新棟関連では、大型購買、委託契約の更新について、入札や見積書徴取の支援を引き続き行う</li> <li>2. 新棟開設の届出支援 新棟建設の工程管理とともに、特養の指定申請及び病院の使用許可申請、使用前検査、開設許可(変更事項)申請の資料作成の支援を行う</li> <li>3. 新棟建設の補助金申請支援 特養・病院の施設整備費補助金の交付申請、実績報告、検査対応を行う</li> </ol>
本部機能の強化 (3) 法人本部機能の強化	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新棟落成式の挙行 新棟の竣工後、使用開始前の期間に、新棟落成式と近隣住民を中心とした内覧会を企画、主催する</li> <li>2. 新棟完成後、本部事務局設置場所を移動 新棟完成後に本部事務局を集約し、本部業務の効率化を図る</li> <li>3. 法人業務電子化の推進 ・AI を活用した業務効率化を検討する(口述筆記から開始予定) ・RPA による業務効率化を検討、試行する</li> <li>4. 定年制の改訂 定年制検討委員会を開催し、委員会答申に基づく規程改正を進める</li> <li>5. 100周年事業 ・「東京有隣会 百年のあゆみ」編纂委員会を定例開催、年度中に完成 ・100周年委員会の運営</li> </ol>

## 有隣ホーム

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>専門医療対応の充実・強化</b>		
<b>① 有隣病院と特養ホームとの連携の推進</b>		
有隣病院(地域連携室)との連絡会の定期開催	法人内各施設の連携担当者会議の定期開催を始めた	連携会議継続
<b>② 専門医療対応が必要な方の受入れの充実</b>		
有隣病院からの入所希望者等の受入れ環境の整備(10月～経管栄養)	連携会議を活用し入所可能となった時点で速やかに入所につなげた	連携会議での情報共有により、事前に待機者の状況を把握し、速やかに入所できる体制を継続する
<b>③ 医療ケアができる介護職員の育成強化</b>		
介護職員の育成強化に向けた有隣病院との連携体制の構築	介護職員に対して医療ケアのための育成が出来なかった	施設看護師と介護職員の連携を強化し、さらに、医療的専門部分のケアにおいて病院との連携体制を構築する
医療ケア(喀痰吸引、経管栄養)の実施に向けた研修	喀痰吸引実施研修修了者の介護職員は多数在籍しているが、実際には看護師が実施している	医療ケアに向け看護職員等の内外研修への参加を検討する 喀痰吸引実施研修は自施設での実績を生かし、効果的な受講を検討する
<b>看取り、認知症対応等の充実</b>		
<b>① 看取りの取組みの充実</b>		
看取りの取組みの充実に向けた研修(医療ケア、グリーフケア、家族対応等)	今までどおり看取りへの取組みを継続	看取りへの取組みを継続する他、外部研修への参加や定期施設内研修を実施し、看取りへの知識と意識を高める
<b>② 認知症対応の強化</b>		
都認知症介護基礎研修(未修了者の常勤介護職員)	(未修了者なし)	対象者には受講を薦める
都認知症介護実践者研修(基礎研修修了者)	研修の申し込みを行っているが、なかなか当選できず受講に至らない	実践者研修、指導者研修等積極的に受講して行く
研修修了者等による認知症ケア研修の実施(施設職員向け)	(実施なし)	受講者の復習を兼ねて研修の開催を計画する
<b>権利擁護(虐待防止)の徹底</b>		
<b>① 職員自らの振り返りによる虐待の早期発見・対応</b>		
虐待の芽チェックリストの定期実施 実施率 70%以上	3ヶ月ごとに実施 平均実施率 61.9% 年度末は 100%	実施を継続 実施率の維持向上を目指す
<b>② 虐待防止委員会の取組みの強化</b>		
身体拘束・虐待防止・人権・接遇委員会の定期開催(毎月)	限られた職員のみが開催、書面開催のみの月もあった	委員会が主導となる体制をつくる
虐待の芽チェックリストの分析・対応の徹底等	3ヶ月ごとに結果を分析、定期ミーティングで課題を話し合う	継続して実施
<b>③ 権利擁護・虐待防止研修の実施</b>		
年2回実施(外部講師による研修・法人内研修)	年間研修計画に組み込み、外部講師による研修を実施	継続して実施(定期施設内研修実施)

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>介護人材の育成</b>		
<b>① 各年度の重点的な取組み</b>		
科学的介護、ユニットケアに関する研修	科学的介護について、内容の検討と準備	科学的介護の理解をする (身体的なケアだけでなく心理的・社会的な内容を理解する)
(再掲)看取りの取組みの充実に向けた研修		
<b>② 継続的な取組み</b>		
身体拘束等研修、感染症及び食中毒の予防等研修、非常災害対策訓練、事故発生防止研修、褥瘡等の研修	年間研修計画に組み込み、身体拘束等研修、感染症の予防等研修、非常災害対策訓練、事故発生防止研修、褥瘡等の研修実施	継続して実施(定期施設内研修の対面受講率を上げる)
介護分野のキャリア段位取得や資格取得に向けた支援	実施するための検討と準備	実施できる体制づくりを行う
(再掲)権利擁護・虐待防止研修、認知症研修		
<b>③ 法人内外での研修・研究成果の実践的取組みの発表</b>		
(法人外) 他法人と連携しての実践発表会や区民福祉学会での発表、専門誌への投稿等	5月に他法人との業務連携・協力に関する協定を締結	連携内容の検討、課題事項の抽出発表については特別なことではなく通常業務の中からテーマを絞り、業務過程を発表に繋げられるように検討する
(法人内) 有隣病院と連携し研究発表会での発表等	年に一度開催(研究発表会) 機能訓練指導員による発表(2月)	前記内容にて法人研究発表会で発表予定
<b>④ 法人内施設での合同研修の推進</b>		
法人介護3施設の合同研修の実施	(実施なし)	課題事項を整理し実施に向けた検討を行う
<b>科学的介護システム「LIFE」を活用したケアの質の向上</b>		
栄養マネジメント強化、個別機能訓練・口腔衛生管理・科学的介護推進の各加算の取得	栄養マネジメント強化・個別機能訓練・口腔衛生管理、各加算は実施	取得している加算は継続し、その他の加算取得の検討を行う (加算取得に基づくLIFEの活用策を検討)
評価結果を活用したケアの質の向上に向けた取組み開始	下期の実施に向けた準備	LIFE フィードバックの活用を検討し、サービスの質の向上につなげる
(再掲)職員研修取組みの検証		
<b>介護現場の改革[有隣ホーム]</b>		
2階の南側と北側の統合、3階も含めた日常業務のスリム化を実施	2・3F合同の入浴、夜勤業務を検討し実施	効率化の検討(項目の抽出) 職員へのヒヤリング結果に基づき、優先順位を定め実現を図る
介護記録ソフト、眠りリスク等、ICT機器の導入に向けた検討	導入に向けての準備・情報収集と課題の検討 センサーベッドの導入	収支と職員体制のバランスを考慮し、導入のタイミングと機種を検討

## 2024 年度事業計画-特記事項 (ケアプランゆうりん)

2024 年度計画	詳細事項・具体的取組事項
地域福祉の推進	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 対応困難事例の積極的受け入れによる地域の信頼の向上</li><li>2. 有隣病院に主眼を置いた地域の医療機関と連携により、患者の早期退院と安定した在宅生活への復帰を支援する</li></ol>
個別性を尊重した支援の提供	<ol style="list-style-type: none"><li>1. サービス開始前の関係者間における目標及びプロセスの十分な共有</li><li>2. 利用者満足度の高い支援の提供</li><li>3. 定期的な事例検討会への参加</li><li>4. 疾患や心理など、幅広い研修への参加による知識の深化</li></ol>
地域との連携	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 目標達成に向けた、インフォーマルを含むサービスとの連携の強化</li></ol>
安定した経営の確保	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 法人内各事業所との連携</li><li>2. 二人体制構築による受け入れ枠の拡大</li><li>3. 対応困難事例とそうでない事例の受け入れのバランス調整</li></ol>
危機管理	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 法人内事業所と連携した災害対策の実施</li><li>2. 災害時における利用者の安全確認と生活の確保に向けたロードマップの立案</li><li>3. BCP の策定と必要な物品の確保</li></ol>

## 第2 有隣ホーム

(下線部は当初計画からの修正)

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>専門医療対応の充実・強化</b>		
<b>① 有隣病院と特養ホームとの連携の推進</b>		
有隣病院(地域連携室)との連絡会の定期開催	有隣病院の地域連携室職員、各拠点の相談員が出席した連絡会を定期開催開始し情報共有を実施	有隣病院(地域連携室)等との連絡会の定期開催
<b>② 専門医療対応が必要な方の受入れの充実</b>		
有隣病院からの入所希望者等の受入れ環境の整備(10月～経管栄養)	有隣病院からの入所希望者の受入れ調整中 ※空床ができ次第受入れ開始	経管栄養、インシュリン注射の一般受入の開始
<b>③ 医療ケアができる介護職員の育成強化</b>		
介護職員の育成強化に向けた有隣病院との連携体制の構築 医療ケア(喀痰吸引、経管栄養)の実施に向けた研修	医療ケア(喀痰吸引、経管栄養)の実施に向けた研修は8名終了 登録申請準備中	医師・看護職員との連携の下で介護職員による医療ケア(喀痰吸引、経管栄養)の実施開始
<b>看取り、認知症対応等の充実</b>		
<b>① 看取りの取組みの充実</b>		
看取りの取組みの充実に向けた研修(医療ケア、グリーンケア、家族対応等)	主にWEB研修を実施	看取りの取組みの充実に向けた研修(医療ケア、グリーンケア、家族対応等)の実施
<b>② 認知症対応の強化</b>		
都認知症介護基礎研修(未修了者の常勤介護職員)・実践者研修(基礎研修修了者)、研修修了者等による認知症ケア研修の実施(施設職員向)	認知症基礎研修2名受講  認知症介護実践者研修修了者によるフィードバック研修は未実施	(修正) <u>認知症介護実践者研修の受講を推進</u> <u>認知症介護実践者研修修了者による伝達研修を実施</u> <u>他の認知症関連研修の受講を促進する</u>
<b>第2 ホームの新棟移転計画</b>		
<b>① 入所者、家族等への対応</b>		
入所者代理人への具体的説明	12月家族懇談会にて入所者代理人へ現時点でのご報告できる内容を説明	代理人と協議、契約等の変更、入居者のフロア替
<b>② 法人内施設との調整、連携</b>		
有隣病院、有隣ホームとの協力・連携体制検討	主に共有部分の運用、有隣ホームとの協力体制について調整中	病院と新棟全体の運用や現場運用の調整等
<b>③ 運用計画、設備準備</b>		
施設設備・機器・ICT 機器等の選定、介護ソフトの見直し	施設設備・機器・ICT 機器等の選定はおおむね終了	新しい機器を活用したユニットケア、従来型ケアの運用シミュレーション



# 2024年度事業計画-特記事項（第2有隣ホーム）

2024 年度計画	詳細事項・具体的取組事項
<p>専門医療対応の充実・強化</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門医療対応が必要な方の受入れの充実 第2有隣ホームとしての経管栄養の受け入れ第1号の方については、有隣病院と連携し経管栄養回数を2回/日に調整中 調整後、空床でき次第入所する運び</li> <li>2. 医療ケアができる介護職員の育成強化 医師、看護師との連携の下で介護職員による医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養）を実施できるよう取り組む 介護職員が一部医療的ケアを担う事ができるよう育成し、緊急時のバックアップ体制の強化を図る 夜勤配置加算(Ⅲ)(Ⅳ)の取得を目指す</li> </ol>
<p>第2有隣ホーム新棟移転計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者、家族への対応 入居者、代理人と居室変更、フロア替えに関して協議、契約変更を実施する</li> <li>2. 法人内施設との調整、連携 病院と新棟全体の現場運用や有隣ホームとの各種業務連携等について調整する</li> <li>3. 運用計画、設備計画 新しく導入した設備を効率的に活用するためユニットケア・従来型ケアの運用シミュレーションを実施する</li> <li>4. 人材確保、育成 特定技能の外国人受入れ体制を支援機関と協力し構築する 多面的な人材確保を継続する 施設内外におけるユニットケア研修を継続する</li> <li>5. 移転後の対応 課題の整理や償還計画の調整、ユニット関連加算取得に向けて準備、調整する 現第2有隣ホーム解体準備、解体期間内の敷地内運用を調整、実施する</li> </ol>
<p>権利擁護の徹底</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員自らの振り返りを定期的に行い虐待等を防止する 虐待の芽チェックリスト実施率80%以上とし、結果を分析し対策を講じる</li> <li>2. 虐待防止委員会の取組みの強化 虐待防止マニュアルの検証・更新する 職員研修内容の検証・更新する</li> <li>3. 権利擁護・虐待防止研修を実施</li> <li>4. 施設内研修や外部講師を活用した研修を実施する</li> </ol>
<p>介護人材の育成</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 重点的な取り組み 科学的介護の強化やユニットケア研修を計画し実施する 喀痰吸引などの医療的ケアができる介護職員の育成を継続する</li> <li>2. 継続的な取組み 身体拘束防止、リスクマネジメント、認知症関連、看取りケア（医療ケア、</li> </ol>

2024 年度計画	詳細事項・具体的取組事項
	<p>ICT 機器活用、グリーンケア、家族対応等)等の研修を実施する 褥瘡防止研修を充実させ新規褥瘡発生件数を前年比以下を目指す</p> <p>3. 法人内外での合同研修への参加 介護研究の取り組み等を外部において発表する 次世代介護機器(見守りシステム)のアドバンスト施設として外部施設への ICT 機器活用の普及活動(公開見学会、セミナーの参加)を実施する</p> <p>4. 感染症や災害に係る業務継続計画等の関連研修や共通項目について外部講師を活用した合同訓練を実施する 社会福祉事業団との合同研修を継続する</p>
介護現場の改革	<p>1. 喀痰吸引等業務を担える介護職員を夜間帯に 1 名以上配置し、かつ見守り機器を全床に設置する事で夜勤職員配置加算(Ⅲ)(Ⅳ)を算定する事を目指す</p>

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>④ 人材の確保、育成</b>		
継続的な施設内外におけるユニットケア研修	ユニットケア管理者研修修了 ユニットケアリーダー研修の受講継続中 外部施設へ赴きユニットケアについてご指導頂く	移転スケジュール計画の作成と人材確保
<b>⑤ 移転後の対応(2024年 12月～)</b>		
(-)	(-)	償還計画調整、ユニット加算取得に向けての準備・実施、施設解体準備
<b>権利擁護(虐待防止)の徹底</b>		
<b>① 職員自らの振り返りによる虐待の早期発見・対応</b>		
虐待の芽チェックリストの定期実施 実施率 70%以上	8月チェック実施率 80%以上 1月チェック実施率 80%以上	虐待の芽チェックリストの定期実施 実施率 80%以上を目指す
<b>② 虐待防止委員会の取組みの強化</b>		
身体拘束・虐待防止・人権・接遇委員会の定期開催(毎月)	毎月開催し各項目について検討実施	毎月開催し各項目について検討実施 虐待防止マニュアルの検証・更新、職員研修計画の更新等
虐待の芽チェックリストの分析・対応の徹底等	結果分析し現場職員へ共有	結果分析の強化、共有
<b>③ 権利擁護・虐待防止研修の実施</b>		
年 2 回実施(外部講師による研修・法人内研修)	外部講師による研修・WEB 研修	外部講師による研修・WEB 研修
<b>介護人材の育成</b>		
<b>① 各年度の重点的な取組み</b>		
科学的介護、ユニットケアに関する研修	ユニットケア管理者研修修了 ユニットケアリーダー研修の受講継続中	(継続) 研修計画の見直し、更新 医療ケアができる介護職員の育成強化(3年計画)
<b>② 継続的な取組み</b>		
身体拘束等研修、感染症及び食中毒の予防、非常災害対策訓練、事故発生防止研修、褥瘡等の研修	計画通り実施 災害訓練は机上訓練を実施	各研修・訓練を継続する
介護分野のキャリア段位取得や資格取得に向けた支援	キャリア段位取得者1名輩出 ケアマネ資格取得の支援実施	キャリア段位取得者の輩出 ケアマネ資格取得支援の継続

取組み項目	2023 年度 実施見込	2024 年度計画
<b>③ 法人内外での研修・研究成果の実践的取組みの発表</b>		
他法人と連携しての実践発表会や区民福祉学会での発表、専門誌への投稿等、有隣病院と連携し研究発表会での発表等	<p>区民福祉学会での発表、専門誌への投稿は未実施</p> <p>有隣病院と連携し研究発表会で1件発表実施（2月）</p> <p>社会福祉事業団との合同研修会に有隣ホーム、第2有隣ホームで参加（3月）</p>	<p>（修正）次世代介護機器（見守りシステム）のアドバンス施設として外部施設への ICT 機器活用の普及活動（公開見学会、セミナーの参加等）を実施</p> <p>社会福祉事業団との合同研修会の継続</p>
<b>④ 法人内施設での合同研修の推進</b>		
法人介護 3 施設の合同研修の実施	未実施	（修正）特養・ケアセンター共通の研修項目について外部講師を活用した合同研修を企画する
<b>科学的介護システム「LIFE」を活用したケアの質の向上</b>		
<p>栄養マネジメント強化・科学的介護推進体制等の各加算取得</p> <p>評価結果を活用したケアの質の向上に向けた取組み開始取組みの検証</p>	<p>栄養強化、個別機能訓練、口腔衛生管理、科学的介護等 LIFE 加算取得</p> <p>評価結果の共有は実施活用方法について検討中</p> <p>介護報酬の改定等に関する研修に参加 新たな加算取得の検証</p>	<p>介護報酬改定の変更等を調整し継続して加算を取得していく</p> <p>施設での取組みの評価結果を活用ケアの質の向上に向けた取組</p> <p>介護報酬の改定等に関する研修に参加 新たな加算の取組みなど、取組みの検証</p>
<b>介護現場の改革</b>		
<p>介護記録ソフトの変更に向けた検討（記録業務改革を計画）</p> <p>業務の効率化のための機器を導入し、業務改革を推進</p>	<p>様々な介護ソフトの情報収集施設内の各種機器に連動し、外国人にも扱いやすいソフトの選定検討</p> <p>導入した機器を最大限活用し業務改善や効率化を加速</p>	<p>（修正）有隣ホーム、有隣ケアセンターも含め選定について変更時期等の協議補助金活用の検討</p> <p>（新棟への移転後）見守り機器等 ICT 機器を活用し職員の働き方を改革 夜勤職員配置加算（Ⅲ）（Ⅳ）の取得</p>

# 有隣ケアセンター

(下線部は当初計画からの修正)

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>専門医療対応の充実・強化</b>		
<b>① 有隣病院と特養ホームとの連携の推進</b>		
有隣病院(地域連携室)との連絡会の定期開催	有隣病院の地域連携室職員、各拠点の相談員が出席する連絡会を定期開催し情報共有を実施	定期連絡会の継続
<b>第2ホームの新棟移転計画</b>		
<b>① 移転後の対応(2024年 12月～)</b>		
(-)	(-)	移転計画・準備
<b>権利擁護(虐待防止)の徹底</b>		
<b>① 職員自らの振り返りによる虐待の早期発見・対応</b>		
虐待の芽チェックリストの定期実施 実施率 70%以上	虐待の芽チェックリスト実施率 100%	実施率 100%継続
<b>② 虐待防止委員会の取組みの強化</b>		
身体拘束・虐待防止・人権・接遇委員会の定期開催(毎月)	毎月開催し各項目について検討実施	身体拘束・虐待防止・人権・接遇委員会の定期開催(毎月)
虐待の芽チェックリストの分析・対応の徹底等	結果分析の精査、対応策は不十分	結果を分析し対策を講じる
<b>③ 権利擁護・虐待防止研修の実施</b>		
年2回実施(外部講師による研修・法人内研修)	外部講師による研修・WEB研修	(継続)
<b>介護人材の育成</b>		
<b>② 継続的な取組み</b>		
身体拘束等研修、感染症及び食中毒の予防、非常災害対策訓練、事故発生防止研修、褥瘡等の研修	計画通り実施 第2有隣ホームとの合同災害対策机上訓練は未参加	身体拘束等研修、感染症及び食中毒の予防、非常災害対策訓練、事故発生防止研修、褥瘡等の研修
介護分野のキャリア段位取得や資格取得に向けた支援	キャリア段位制度の取組み未実施	キャリア段位制度の取組み計画中止
<b>③ 法人内外での研修・研究成果の実践的取組みの発表</b>		
他法人と連携しての実践発表会や区民福祉学会での発表、専門誌への投稿等、有隣病院と連携し研究発表会での発表等	未実施	有隣研究発表会内での発表を検討

取組み項目	2023 年度 実施見込	2024 年度計画
<b>④ 法人内施設での合同研修の推進</b>		
法人介護 3 施設の合同研修の実施	未実施	(修正) ケアセンター・特養共通の研修項目について外部講師を活用した合同研修を企画する
<b>科学的介護システム「LIFE」を活用したケアの質の向上</b>		
<p>栄養マネジメント強化・科学的介護推進体制等の各加算取得</p> <p>評価結果を活用したケアの質の向上に向けた取組み開始取組みの検証</p>	<p>ケアセンターとして取得可能な個別機能訓練加算（Ⅰ）（Ⅱ）を取得</p> <p>機能訓練項目の評価結果の確認はしているが活用まで至らず</p> <p>介護報酬の改定等に関する研修に出席し、新たな加算取得を検証</p>	<p>介護報酬改定後の同等加算の取得</p> <p>(修正) 一般的な評価結果活用の動向も踏まえながら、活用を図る</p> <p>介護報酬の改定等に関する研修に出席し、新たな加算取得を検証する</p>
<b>介護現場の改革</b>		
<p>介護記録ソフトの変更にに向けた検討（記録業務改革を計画）</p> <p>業務の効率化のための機器を導入し、業務改革を推進</p>	<p>様々な介護ソフトの情報収集施設内設備に連動し、外国人にも扱いやすいソフトの選定を検討中</p> <p>移転先での運用を踏まえた入浴機器の選定</p>	<p>(修正) 有隣ホーム、有隣ケアセンターも含め介護ソフト選定について変更時期等の協議</p> <p>補助金活用の検討</p> <p>移転後、新しい入浴機器を最大限活用した業務改善を計画</p>
<b>移転後の新たなデイサービスの展開</b>		
<p>有隣病院リハビリスタッフ等と連携して個別機能訓練</p> <p>スタッフの採用営業活動と送迎体制の調整</p> <p>改修計画調整等</p>	<p>有隣病院リハビリスタッフと連携し個別機能訓練実施者の拡充を計画</p> <p>スタッフ採用活動は集団面接会や独自に求人広告を作成し採用につなげた</p> <p>移転先の改修計画調整等</p>	<p>改修工事 ※時期は検討中 12月移転 事業開始 (継続)</p> <p>移転先の業務シミュレーションを実施</p>

# 2024年度事業計画-特記事項（有隣ケアセンター）

2024 年度計画	詳細事項・具体的取組事項
権利擁護の徹底	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員自らの振り返りを定期的に行い虐待等を防止する 虐待の芽チェックリスト実施率 100%を維持し結果を分析し対策を講じる</li> <li>2. 虐待防止委員会の取組みの強化 虐待防止マニュアルを検証・更新する 職員研修内容を検証・更新する</li> <li>3. 権利擁護・虐待防止研修を実施 施設内研修や外部講師を活用した研修を実施する</li> </ol>
移転後の新たなデイサービスの展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者、家族への対応 デイサービスの移転について利用者、家族に向けて説明会を実施する サービス提供について契約変更等を含めて個別に協議し、継続利用に向けて調整する</li> <li>2. 法人内施設との調整、連携 病院、施設との連携や運営体制について調整する</li> <li>3. 運用計画、設備計画 送迎も含めた移転先の現場運用を計画し、シミュレーションを実施する 新たに設置する設備等を最大限活用できるように現場改革を行う</li> <li>4. 現有隣ケアセンター解体準備,解体期間内の敷地内運用を検討し実施する</li> </ol>
介護人材の育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 継続的な取組み ケアセンターとしてキャリア段位制度の取組みは人員不足のため一旦、計画中止とする</li> <li>4. 感染症や災害に係る業務継続計画等の関連研修や共通項目について外部講師を活用した合同訓練を実施する</li> </ol>
介護現場の改革	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 送迎ルートの効率化を図る</li> <li>2. 送迎担当職員の利用者に対する安全配慮、緊急時のサポート体制について定期的に見直す</li> <li>3. アクティビティ活動や行事、ボランティア等の受け入れを拡充し、利用者満足度を向上できる取り組みを実施する</li> </ol>

2024 年度計画	詳細事項・具体的取組事項
	<p>4. 介護報酬改定に適合した調整や新加算の取得に必要な項目を検証し算定する</p>
<p>移転後の新たなデイサービスの展開</p>	<p>1. 機能訓練の拡充 有隣病院の理学療法士と協働し、機能訓練対象者の拡充を図る 集団機能訓練の導入を検討する</p> <p>2. 利用者、家族への対応 デイサービスの移転について利用者、家族に向けて説明会を実施する サービス提供について契約変更等を含めて個別に協議し、継続利用に向けて調整する</p> <p>3. 法人内施設との調整、連携 病院、施設との連携や運営体制について調整する</p> <p>4. 運用計画、設備計画 送迎も含めた移転先の現場運用を計画し、シミュレーションを実施する 新たに設置する設備等を最大限活用できるように現場改革を行う</p> <p>5. 現有隣ケアセンター解体準備,解体期間内の敷地内運用を検討し実施する</p>



# 2024年度事業計画（中期行動計画PI4に基づく）

## 有隣病院

取組み項目	2023年度 実施見込	2024年度計画
<b>健診センターの開設</b>		
4月～健診委員会開催 （偶数月第1月曜）	・委員会開催 ・職員B型肝炎ワクチン接種実施	検診委員会の開催（偶数月第1月曜）
健診センター開設と協会けんぽ関連について協議 健診システム更新(健診ナビへ移行)	・協会けんぽの申請準備作業を実施	・健診センター開設に向けた準備作業を実施 ・健診システムの更新(9月予定)
<b>健康教室等の開催</b>		
健康フェスタ、太極拳教室、講演会等の開催	講演会開催（10/18）	・健康フェスタ、太極拳教室、講演会の開催
地域の行事に参加	・地域の行事「あおば祭り」、「ふれあい祭り」、「防災訓練」に参加	・地域の行事「あおば祭り」、「ふれあい祭り」、「防災訓練」に参加
<b>病院機能評価、その他改善活動</b>		
日本医療機能評価機構の受審に向けた準備 ・審査項目の確認と自己点検と結果に対する改善等の受審準備作業 （規程・マニュアル等の修正・作成）	・受審準備の勉強を実施	・受審準備作業の実施
<b>チーム医療の取組み強化と推進</b>		
院内外の研修会参加増 院内の研究・活動発表会	・個人情報保護法研修実施 ・医療機器安全管理研修実施 ・各種研修会実施 ・院内研究発表会開催(2/14)	・院内外の各種研修会への参加 ・院内研究発表会の開催
医療安全・感染対策・NST・褥瘡対策チームの継続強化	・医療安全、感染対策チームの月1回各職場ラウンドを実施 ・NST 担当予定医師の講習会参加	・医療安全、感染対策チームの月1回各職場ラウンドの実施 ・NST 委員会の開催
認知症ケア・口腔ケア・排泄ケアの活動とチーム編成の検討	・認知症ケアの東京都講習会に参加 ・病棟単位の口腔ケア実施 ・病棟単位の排泄ケア実施	・認知症ケア講習会への参加 ・病棟単位の口腔ケアを実施 ・病棟単位の排泄ケアを実施
<b>電子カルテシステムの導入</b>		
電子カルテオーダリングシステム稼働 ・オーダリングシステム稼働（2024年4月1日） ・新病棟での運用開始（2024年12月1日）	・電子カルテシステム契約先決定(10/31) ・契約先と各部門のシステム接続検討 ・オーダリングシステム稼働試験実施・リハーサル実施	・電子カルテオーダリングシステム稼働(4/1) ・電子カルテオーダリングシステム新病棟での運用開始(12/1)

# 2024年度 事業計画書—特記事項（有隣病院）

<p>有隣病院 の 基本方針</p>	<p>●中期経営目標の達成に向け「有隣病院の基本方針」を定める</p> <p>1. 患者さんを尊重した医療を実践します</p> <p>① 適正な医療を分かりやすく丁寧に説明します</p> <p>② 安心して納得していただける医療を行います</p> <p>③ 意思と尊厳を大切にします</p> <p>④ 信頼を得られるよう誠意をもって対応します</p> <p>2. つねに自己研鑽し人格・知識・技能の向上に努めます</p> <p>3. 職場では、チーム医療に徹し働きやすい労働環境にします</p>
<p>職員の 行動指針 (私達の誓い)</p>	<p>●中期経営目標の達成に向け「職員の行動指針」を定める</p> <p>より広く：地域に寄与し、地域に支持される病院づくりを進めます</p> <p>より厚く：真心と思いやりで日々の医療(診療・看護)を実践します</p> <p>より高く：病む人に学び、人の老いに学ぶ努力と研鑽を続けます</p>
<p>中期行動計画</p>	<p>●健診センターの開設(2025年10月)に向けて</p> <p>★協会けんぽとの協議・・・・・・・・・・2024年4月～2025年5月</p> <p>★C棟改修・健診センター設置・・・・・・・・2024年10月～11月</p> <p>★協会けんぽ審査・センター開設・・・・・・・・2025年7月～2025年10月</p> <p>★健診システムの更新・・・・・・・・・・2024年9月(予定)</p> <p>●健康教室等の開催</p> <p>★健康フェスタ、太極拳教室、健康講演会等の開催</p> <p>●日本医療機能評価機構受審認定取得(2025年度取得に向けて)</p> <p>★機能評価受審準備</p> <p>★審査項目確認・自己点検</p> <p>★自己点検に対応する規程等の整備</p> <p>●チーム医療の取組み強化と推進</p> <p>★院内外の研修会参加増</p> <p>★院内の研究活動発表会の開催</p> <p>★医療安全・感染対策・NST・褥瘡対策チームの継続強化</p> <p>★認知症・口腔・排泄ケアのチーム活動継続強化</p> <p>●電子カルテシステム</p> <p>★電子カルテオーダーリングシステム稼働・・・・・・・・2024年4月1日</p> <p>★新病棟での運用開始・・・・・・・・・・2024年12月1日</p>

特記事項	詳細事項・具体的取組事項
<b>【経営の安定】</b> <b>●予算達成に向けて</b> <b>(病床稼働率等)</b>	<b>●病床稼働率の計画と実現</b> 1. 入院稼働率目標・・・・・・・・・・85.4%以上 ① 一般病棟 (B2病棟) 50床 36.0床(±5)/日 72.0%(±5) 22,000円以上 ② 療養病棟 (B1病棟) 50床 48.0床/日 96.0% 18,000円以上 ③ 回復期病棟(C2病棟) 50床 43.0床/日 86.0% 42,000円以上 ④ 回復期病棟(C3病棟) 49床 43.0床/日 87.8% 42,000円以上 2. 医科外来患者数100人/日以上 1人当たり日当円 4,800円以上
<b>(経費の節減)</b>	<b>●経費の節減</b> ① ジェネリック薬品の使用促進 90%維持 ② 光熱水量の使用量監視 ③ コスト意識を持ち、積極的に経費削減に努める。
<b>【人材育成】</b> <b>●研修・教育の取組み</b>	1. チーム医療の取組み強化と推進(病院全体の取組み) ① 院内外の研修会への参加(伝達講習の含む) ② 院内の研究会・発表会の開催 ③ 医療安全・感染対策・NST・褥瘡対策チームの継続強化 ④ 認知症ケア・口腔ケア・排泄ケアのチーム活動の継続強化 ⑤ 多職種カンファレンスの継続強化(事例検討会を含む。) 2. 研修教育の充実(eラーニング活用) 3. 各部門の取組み ① 教育委員会活動 ② 実習指導者研修受講奨励 ③ 学会・研究会への参加と演題発表の推進 ④ 院内全職員向けBLS講習会開催：教育委員会主催 ⑤ 認知症に関する研修会の開催：教育委員会主催 ⑥ 外部講師による院内講演会：教育委員会と共同
<b>【地域貢献】</b> <b>●健康教室等の開催</b>	<b>●地域病院として、社会活動の拠点としての役割を果たす。</b> ① 法人として医療と介護が連携し地域社会に貢献する。 ② 健康フェスタの開催 ③ 太極拳教室の開催 ④ 船橋地区住民対象の講演会、医療相談、健康教室等の開催
<b>【医療安全】</b>	<b>●「医療安全管理委員会」、「院内感染防止対策委員会」活動の継続</b>
<b>【危機管理】</b>	<b>●防火・災害対策の法人全体としての取組み及び委員会の定期的な開催</b> ① 消防・避難誘導訓練(昼間・夜間) ② 地震想定による防災計画及び避難誘導訓練 ③ 事業継続計画(BCP)検討強化・訓練検討
<b>【その他】</b>	<b>●建物設備の管理強化：屋上防水・外壁・設備機器等の改修・更新</b> 2024年度施設・設備整備基本計画表に基づき実施 <b>●協会けんぽ指定申請準備</b> <b>●日本医療機能評価機構受審準備</b>

特記事項

詳細事項・具体的取組事項

入院・  
外来等  
稼働計画

1. 入院・外来等稼働計画、施設基準等

入院	病棟名	施設基準			許可病床	期間	平均入院患者数		診療報酬額		診療費(1人1日)
		入院料	看護配置	看護補助配置			計画	計画	計画		
一般病棟	B 2	一般病棟入院基本料 地域一般入院料3	15 : 1	30 : 1	50床	4月～3月	36.0人	289,080,000	22,000		
						小計	36.0人	289,080,000	22,000		
療養病棟	B 1	療養病棟入院基本料 療養病棟入院料1	20 : 1	20 : 1	50床	4月～3月	48.0人	315,360,000	18,000		
						小計	48.0人	315,360,000	18,000		
回復期リハビリテーション病棟	C 2	回復期リハビリテーション病棟入院料1	13 : 1	30 : 1	50床	4月～3月	43.0人	659,190,000	42,000		
						計	43.0人	659,190,000	42,000		
	C 3		13 : 1	30 : 1	49床	4月～3月	43.0人	659,190,000	42,000		
						計	43.0人	659,190,000	42,000		
					99床	小計	86人	1,318,380,000	42,000		
<b>合計</b>					<b>199床</b>	<b>合計</b>	<b>170床</b>	<b>1,922,820,000</b>			
外来					外来稼働日	期間	外来患者数/日	診療報酬額	診療費(1人1日)		
					243	4月～3月	100.0	116,640,000	4,800		
				243	計	100.0	116,640,000	4,800			
<b>合計</b>						小計	100.0	116,640,000			
							<b>総合計</b>	<b>2,039,460,000</b>			

その他基準	看護配置加算、看護補助加算1、看護補助体制充実加算、夜間看護加算、夜間看護体制加算、療養病棟環境加算1、療養病棟改善加算2、体制強化加算1、感染防止対策加算2、医療安全対策加算2、医療安全対策地域連携加算2、超重症児(者)入院診療加算、準超重症児(者)入院診療加算、認知症ケア加算3、患者サポート充実加算、後発医薬品使用体制加算1、薬剤管理指導料、無菌調剤処理料、輸血管理料2、輸血適正使用加算、検体検査管理加算1、時間内歩行試験、神経学検査、栄養サポートチーム加算、脳血管疾患等リハビリテーション1、運動器リハビリテーション1、呼吸器リハビリテーション1、リハビリテーション初期加算、診療録管理体制加算2、データ提出加算2、CT撮影、入院時食事療養1、入院時生活療養1
-------	---

保険予防活動 その他医業	1)世田谷区基本健康診査、世田谷区癌検診、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診 2)成人病教室、糖尿病友の会 3)人間ドック 4)事業所健診受託、健康教室 5)診療協力受託契約:有隣ホーム、第2有隣ホーム、芦花ホーム、上北沢ホーム
-----------------	--

委員会活動	○院内感染防止対策委員会(ICT委員会) ○医療安全管理委員会(リスクマネージャー会議) ○個人情報保護推進委員会 ○褥瘡対策委員会 ○回復期リハビリテーション委員会 ○薬事委員会 ○栄養管理委員会 ○NST委員会 ○広報委員会 ○患者サポート委員会 ○災害対策委員会 ○看護師の負担軽減及び処遇改善委員会 ○輸血療法委員会 ○教育委員会 ○診療情報管理委員会 ○安全衛生委員会 ○健診委員会 ○医療放射線安全管理委員会 ○施設整備・医療機器購入審査委員会
-------	---

特記事項	詳細事項・具体的取組事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
職員の定員人事、労務	1. 職員の定員 ( ) は 2024 年 2 月 1 日現在数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="2">常 勤</th> <th colspan="2">非 常 勤</th> <th colspan="2">派 遣</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="2">常 勤</th> <th colspan="2">非 常 勤</th> <th colspan="2">派 遣</th> </tr> <tr> <th>計 画</th> <th>実 績</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> <th>計 画</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>12</td> <td>(12)</td> <td>25</td> <td>(21)</td> <td></td> <td></td> <td>看護師</td> <td>53</td> <td>(38)</td> <td>0</td> <td>(26)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>0</td> <td>(0)</td> <td>1</td> <td>(1)</td> <td></td> <td></td> <td>准看護師</td> <td>20</td> <td>(14)</td> <td>0</td> <td>(4)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>(12)</td> <td>26</td> <td>(22)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> <td>看護職員計</td> <td>73</td> <td>(52)</td> <td>0</td> <td>(30)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>6</td> <td>(6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ケアワーカー</td> <td>37</td> <td>(33)</td> <td>3</td> <td>(1)</td> <td>(0)</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>(3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>看護要員 計</td> <td>110</td> <td>(85)</td> <td>3</td> <td>31</td> <td>(0)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>3</td> <td>(3)</td> <td>2</td> <td>(1)</td> <td></td> <td></td> <td>ボイラー技士</td> <td>3</td> <td>(3)</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>47</td> <td>(44)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>用務員</td> <td>3</td> <td>(3)</td> <td>2</td> <td>(0)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>21</td> <td>(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>医療技術員助手(薬剤科)</td> <td>1</td> <td>(1)</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>9</td> <td>(7)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>医療技術員助手(リハ室)</td> <td>2</td> <td>(2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リハビリ医療技術者計</td> <td>77</td> <td>(67)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> <td>医師事務作業補助者</td> <td>2</td> <td>(0)</td> <td>1</td> <td>(0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士</td> <td>2</td> <td>(1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>11</td> <td>(9)</td> <td>3</td> <td>(0)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>M S W</td> <td>7</td> <td>(6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>クラーク(病棟)</td> <td>4</td> <td>(4)</td> <td>1</td> <td>(0)</td> <td>0</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>3</td> <td>(3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>クラーク(外来・他)</td> <td></td> <td>(0)</td> <td>2</td> <td>(1)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>101</td> <td>(89)</td> <td>2</td> <td>(1)</td> <td>0</td> <td>(0)</td> <td>事務当直</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>(5)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事務職員</td> <td>19</td> <td>(12)</td> <td>2</td> <td>(2)</td> <td>3</td> <td>(8)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>23</td> <td>(16)</td> <td>5</td> <td>(3)</td> <td>8</td> <td>(15)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合 計</td> <td>257</td> <td>(211)</td> <td>39</td> <td>(57)</td> <td>8</td> <td>(17)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R06年度</td> <td colspan="2">304</td> <td colspan="2">昨年度</td> <td colspan="2">(285)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>業務委託</td> <td colspan="6">・院内保育室・給食メフオス・C棟清掃</td> </tr> </tbody> </table>														職 種	常 勤		非 常 勤		派 遣		職 種	常 勤		非 常 勤		派 遣		計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績	医師	12	(12)	25	(21)			看護師	53	(38)	0	(26)			歯科医師	0	(0)	1	(1)			准看護師	20	(14)	0	(4)			計	12	(12)	26	(22)	0	(0)	看護職員計	73	(52)	0	(30)	0	(0)	薬剤師	6	(6)					ケアワーカー	37	(33)	3	(1)	(0)	(2)	診療放射線技師	3	(3)					看護要員 計	110	(85)	3	31	(0)	2	臨床検査技師	3	(3)	2	(1)			ボイラー技士	3	(3)			0	(0)	理学療法士	47	(44)					用務員	3	(3)	2	(0)	0	(0)	作業療法士	21	(16)					医療技術員助手(薬剤科)	1	(1)			0	(0)	言語聴覚士	9	(7)					医療技術員助手(リハ室)	2	(2)					リハビリ医療技術者計	77	(67)	0	(0)	0	(0)	医師事務作業補助者	2	(0)	1	(0)			歯科衛生士	2	(1)					計	11	(9)	3	(0)	0	(0)	M S W	7	(6)					クラーク(病棟)	4	(4)	1	(0)	0	(2)	管理栄養士	3	(3)					クラーク(外来・他)		(0)	2	(1)	0	(0)	計	101	(89)	2	(1)	0	(0)	事務当直					5	(5)								事務職員	19	(12)	2	(2)	3	(8)								計	23	(16)	5	(3)	8	(15)								合 計	257	(211)	39	(57)	8	(17)								R06年度	304		昨年度		(285)									業務委託	・院内保育室・給食メフオス・C棟清掃				
職 種	常 勤		非 常 勤		派 遣		職 種	常 勤		非 常 勤		派 遣																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績		計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
医師	12	(12)	25	(21)			看護師	53	(38)	0	(26)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
歯科医師	0	(0)	1	(1)			准看護師	20	(14)	0	(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計	12	(12)	26	(22)	0	(0)	看護職員計	73	(52)	0	(30)	0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
薬剤師	6	(6)					ケアワーカー	37	(33)	3	(1)	(0)	(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
診療放射線技師	3	(3)					看護要員 計	110	(85)	3	31	(0)	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
臨床検査技師	3	(3)	2	(1)			ボイラー技士	3	(3)			0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
理学療法士	47	(44)					用務員	3	(3)	2	(0)	0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
作業療法士	21	(16)					医療技術員助手(薬剤科)	1	(1)			0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
言語聴覚士	9	(7)					医療技術員助手(リハ室)	2	(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
リハビリ医療技術者計	77	(67)	0	(0)	0	(0)	医師事務作業補助者	2	(0)	1	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
歯科衛生士	2	(1)					計	11	(9)	3	(0)	0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
M S W	7	(6)					クラーク(病棟)	4	(4)	1	(0)	0	(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
管理栄養士	3	(3)					クラーク(外来・他)		(0)	2	(1)	0	(0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	101	(89)	2	(1)	0	(0)	事務当直					5	(5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							事務職員	19	(12)	2	(2)	3	(8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							計	23	(16)	5	(3)	8	(15)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							合 計	257	(211)	39	(57)	8	(17)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							R06年度	304		昨年度		(285)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							業務委託	・院内保育室・給食メフオス・C棟清掃																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
2. 福利厚生 ① 定期健診・インフルエンザ予防接種・PCR検査・※3 T-S P O T 検査 ② ストレスチェック制度 ③ 院内受診時の自己負担額(50%)助成制度 ④ 院内保育室設置 ⑤ 白菊会活動支援 【※3 T-SPOT 検査は、結核菌に関する曝露歴を判定するため、結核感染の過去(既往)が判明する。】																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
無料低額診療事業	1. 無料低額診療事業 年間総延患者(入外)の10%以上((生活困窮者)の達成 2. 「無料低額診療事業の指針及び規程」の遵守 3. 全国福祉医療施設協議会、東京都社会福祉協議会等への参加、会議・説明会等への出席																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機器備と各所営繕計画	「2024年度資金収支予算書」及び「《別表》2024年度施設・設備整備基本計画表」による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

# 《別表》2024年度施設・設備整備基本計画表

(単位：円)

	所属	計画(申請)事項	予算		損益予算書	
			固定資産取得費	費目	当初予算額	
<b>1. 建物</b>						
	1	2、3階電子錠更新	3,456,000			
	4	2、3階スタッフステーション改修工事	2,000,000			
	5	1階改修工事(健診センター)	3,000,000			
	6	C棟 1階清掃(床ワックス&空調)				1,000,000
	7	2、3階清掃(床ワックス&空調)				3,000,000
	8	受水槽修理		修繕		7,000,000
	9	C棟冷温水帆給水ポンプ	528,000			
		計	8,984,000			11,000,000
<b>2. 器械及び備品</b>						
	1	車いす20台		消耗備品		1,200,000
	2	AEDトレーニングユニット	330,000			
	3	病棟 新棟移転に伴う各種整理棚(部長室)		消耗備品		450,000
	4	新棟中間浴アビット	2,332,000			
	5	エアーマット10台	1,250,000			
	6	看護部長室 新棟移転後備品		消耗備品		260,000
	7	検査システム(リース年額)		賃借		4,382,400
	8	検査室 薬用冷凍冷蔵庫	315,700			
	9	新棟移転備品		消耗備品		3,000,000
	10	リハビリ 上肢評価システム(ARAT)	294,800			
	11	PT/OT/ST訓練用備品		消耗備品		629,000
	12	安全懸架式リハリフト2台	10,140,020			
	13	平行棒3.5m 1台	709,610			
	14	足関節矯正起立板 2台	260,480			
	15	スタンディングテーブル 1台	385,770			
	16	簡易上肢機能検査 1式	138,435			
	17	練習用腰掛 1台	202,180			
	18	マニュアルテーブル 3台	1,513,600			
	19	練習用階段 1台	595,100			
	20	補助金申請 昇降式リハビリテーブル 1台	135,520			
	21	コードレスバイク 1台	456,500			
	22	ニューステップ 1台	1,487,530			
	23	レッグプレス 1台	1,720,510			
	24	トーフLEX 1台	1,351,900			
	25	ローイング 1台	1,719,300			
	26	移動式姿勢鏡 1台	144,540			
	27	チルトテーブル 1台	1,754,170			
	28	ジェントルステム 1台	249,392			
	29	放射線科 一般X線撮影装置(天井走行式)	4,400,000			
	30	総務課 プリンター	480,000			
	31	地域連携室 コピー機(再掲)	700,000			
	32	健診室 健診システム	5,000,000			
	33	聴力BOX&オーディオメーター(健診センター)	1,700,000			
	34	地域連携s津 机、書棚等		消耗備品		200,000
	35	薬剤科 A4カラープリンター		消耗備品		60,000
	36	医事課 電子カルテ&医事会計システム保守		保守		10,000,000
	37	災害対策 ヘルメット&メガホン他災害用品		消耗備品		500,000
	38	新棟備品購入(机、テーブル、待合椅子等)		消耗備品		10,000,000
	39	電話設備&LAN:配線弱電設備(病院、第2有隣ホーム)	13,500,000			
	40	ネットワーク工事	15,000,000			
	41	心電図モニタ:アンテナ工事(新棟2、3階)	1,700,000			
	42	B棟機械浴槽新棟に移設	660,000			
	43	新棟 新棟&C棟カーテンリース(年額)		賃借		3,000,000
	44	電子カルテサーバー移設		雑費		
	45	サーバーラック3台他	800,000			
	46	引越費用		雑費		5,000,000
	47	病室間仕切り家具、床頭台(リース年額)		賃借		2,560,000
	48	ナースコール追加工事	1,265,000			
	49	床ワックス清掃				3,000,000
		計	72,692,057			41,241,400
<b>4. 研究図書費他</b>						
	1	薬剤科 注射薬調剤監査マニュアル電子版				49,500
	2	薬剤科で日々活用できる書籍3冊				14,520
		計				64,020

5. 新棟建築整備			
1	新棟建築に係る出来高請求額	296,837,000	
2	物価高騰のための工事費追加見込	未定	
3	正面玄関雨除け	未定	
4	厨房設備（病院のみ69%） 77,493,900		
5	・DEエリア	61,099,500	
6	・ABCFエリア	11,347,050	
7	・D6チルド庫	5,047,350	
8	・専用食器	17,000,000	
9	駐車場整備（契約外）	未定	
10	ソーラーパネル（病院・第2有隣ホーム）	14,657,000	
11	アスベスト除去（病院B棟、第2有隣ホーム）	41,866,000	
12	ITV（外部防犯カメラ：契約外）	2,250,000	
13	電話交換機（全施設）	20,800,000	
14	コインランドリー工事	1,000,000	
	計	471,903,900	
6. 別館改修予定			
	別館改修工事	未定	
	計		
7. C棟大規模改修予定			
	屋上防水工事	未定	
	外壁補修工事	未定	
	計		

3

3

10

2

1

10